

重点戦略

1

協働のまちづくりと地域力のアップ

まちづくり宣言2

市民みんなで考え、つくる、わかりやすいまちづくりを進めます。

1 現状認識

- ・市政運営を円滑に進めていくためには、市民の理解が不可欠です。そのため、多様な情報を広く出しあい、情報や問題意識の共有を進めていく必要があります。
- ・「市政に関する必要な情報は得られている」と感じている市民は約7割、情報把握の手段としては、「広報龍ヶ崎」や「回覧・配布物」がほとんどとなっており、「市公式ホームページ」は1割未満となっています。
- ・パブリックコメント^{*1}の実施やワークショップ^{*2}の開催、懇談会の開催などにより、以前に比べて、参画機会が広がっています。
- ・市政に関心を持ち、自発的に参画・提案する市民が増えています。一方で、いわゆるサイレントマジョリティ^{*3}への対応も必要となっています。

2 宣言が目指すまちの姿

市民と行政が目標を共有し、共通認識のもと、共に知恵を出しあうまちづくりが実践されています。

3 実践に向けての考え方

(1) 情報発信力の強化

情報や問題意識の共有化を図るため、行政情報や市民が必要とする情報を様々な媒体を通して積極的に発信します。また、わかりやすく親しみやすい内容となるよう努めます。

(2) 市民参画の拡大

市民からの意見・情報を把握する機会の拡大を図り、市政運営への市民の参画を促進します。

市民の役割

市民アンケートや各種調査に積極的に協力するとともに、ワークショップや懇談会などに自発的に参加し、意見を表明します。

行政の役割

情報発信力の強化と参画機会を拡大し、市民と双方向のコミュニケーションを推進します。また、政策形成過程からの市民の声の反映に努めます。

*1パブリックコメント : 重要な政策などを決定する際に、あらかじめ原案の段階から公表して広く意見を求め、それを考慮して最終的な意思決定を行うとともに、寄せられた意見に対して行政の考え方を公表する仕組み。

*2ワークショップ : 参加者全員が小グループで討議し、一緒に考え、作業をしながら目標に向かって意見を積み上げ、提案をまとめていく手法。

*3サイレントマジョリティ : [Silent Majority]「物言わぬ多数派」、「静かな多数派」。

4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト 自治基本条例の制定 新規	市政運営への市民参画の推進に向けて、まちづくりの進め方のルールや各主体の役割などを明文化した独自の条例を市民と共に策定します。
政策情報誌の発行 新規	特定の重要政策について、現状や課題、市の方針などをわかりやすく解説した情報誌を広報紙とは別に発行し、相互理解を深めます。
情報発信システムの構築 新規	行政情報や災害時の緊急情報をメールなどで配信する新しい情報発信システムを構築します。
新しい市政モニター制度 ^{*1} の構築 新規	市民の意見をより広く把握し、市政運営に反映させるため、新しいモニター制度を構築します。
市公式ホームページの充実と幅広い活用	高齢者や障がい者にも配慮したアクセシビリティ ^{*2} の向上と、必要な情報へのアクセス機能向上を図ります。また、アンケート機能等を活用し広聴機会を拡大します。
市民参画の機会拡大	計画や方針策定時の市民ワークショップの設置や懇談会の開催など、参画機会を拡大します。また、市長室での座談会や各地区でのタウンミーティング ^{*3} を開催します。

5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合(%) ※まちづくりへの市民参画に関する市民の評価を見る指標	20.0	25.0
2. 市役所から発信される情報のうち、必要とする情報は得られていると感じている市民の割合(%) ※市役所の情報発信に関する市民の評価を見る指標	72.1	77.1
3. 行政情報メール配信登録アドレス数(件) ※市民のまちづくりへの関心度を見る指標	—	10,000
4. 市公式ホームページの年間アクセス件数(件) ※市民と行政をつなぐネットワークの利用状況を見る指標	1,141,543	1,484,000
5. 市民と市がお互いの信頼のもと、連携・協力したまちづくりが進められていると感じている市民の割合(%) ※市民と行政との協働に関する市民の評価を見る指標	27.3	37.3
6. 市民アンケート等の回答率(%) ※市民のまちづくりへの関心度を見る指標	41.6	50.0

*1 市政モニター制度 : 市政の重要な課題や市民生活に関係の深い問題などに関して、市民意識を迅速に把握し、市政の効率的かつ合理的な運営に役立てるための市民を対象としたモニター制度。

*2 アクセシビリティ : [accessibility]「受け入れられやすさ」。情報やサービス、ソフトウェアなどが、どの程度広汎な人に利用可能であるかを表す語。特に、高齢者や障がい者などハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかという意味で使われることが多い。

*3 タウンミーティング : 行政と市民による意見交換を目的として開催される対話集会。